

日産自動車株式会社

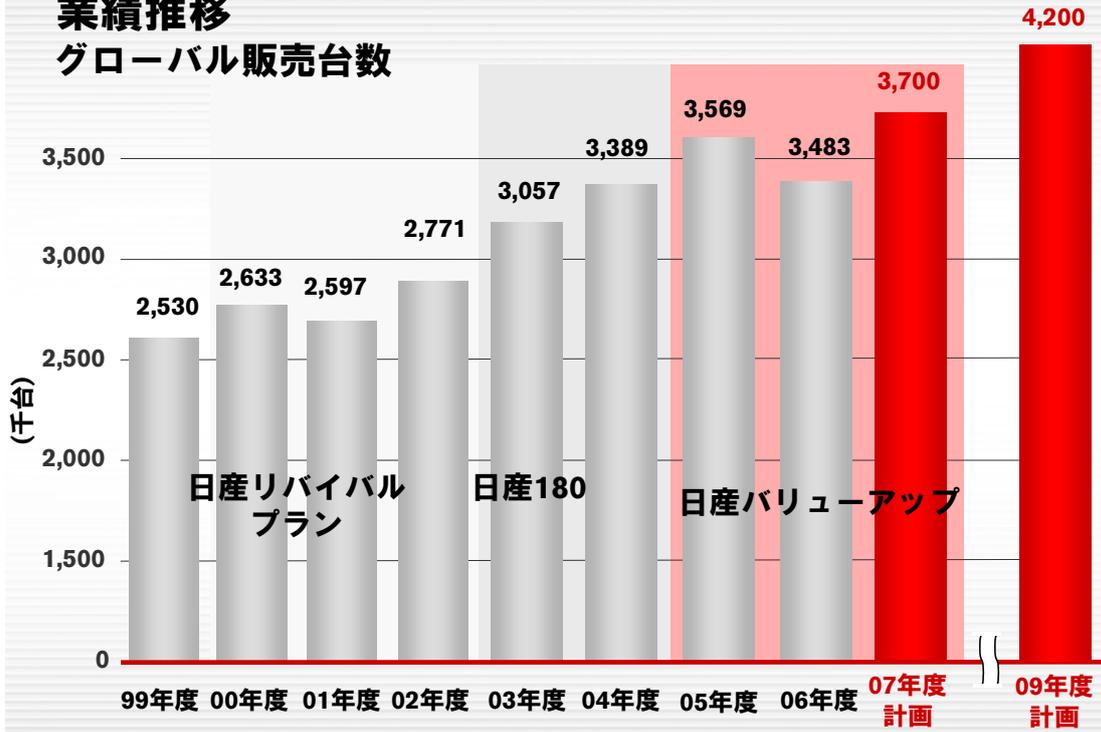
志賀 俊之
COO（最高執行責任者）

2008年3月16日

アジェンダ

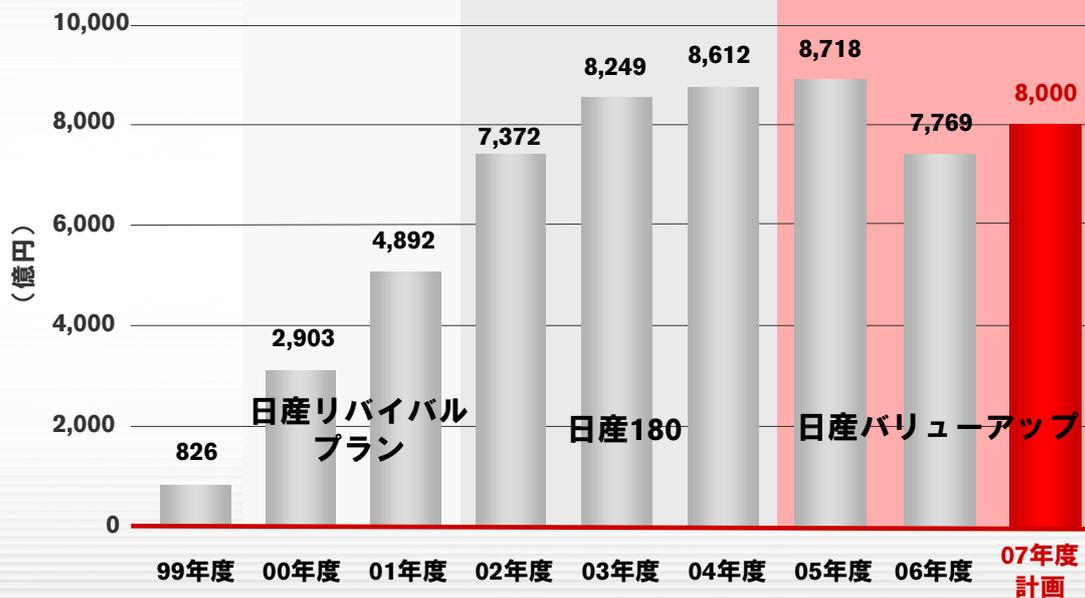
- 1. 業績の推移**
2. 商品ラインアップ
3. 地理的拡大
4. 先進技術の投入
5. 環境に対する取組み

業績推移 グローバル販売台数



2

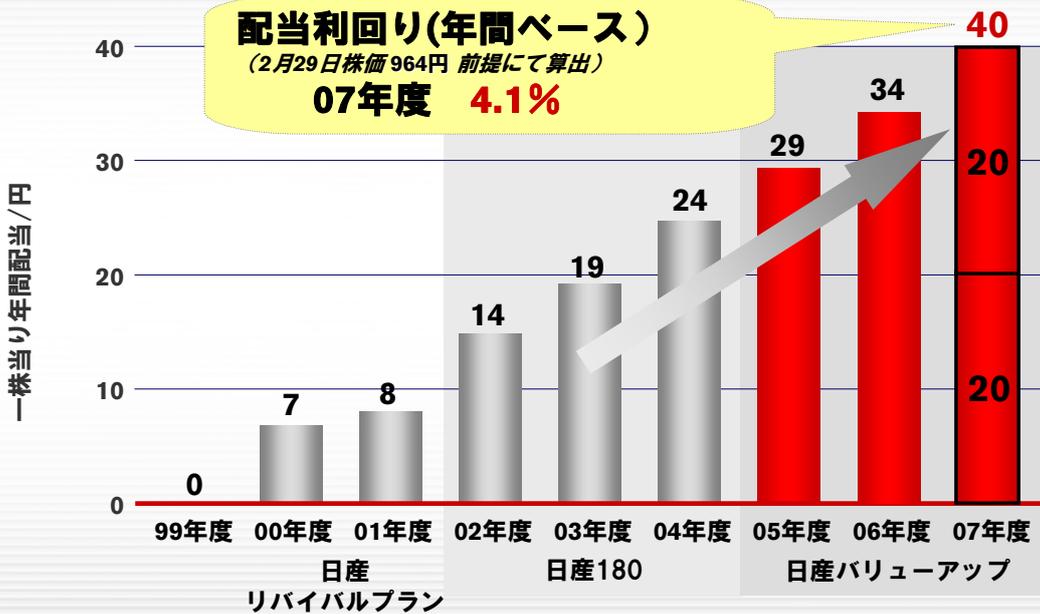
業績推移 連結営業利益



3

株主還元策

配当政策 - 配当金額を約束 -



4

株主還元策

株主優待 - 今年3月末時点の株主の方へ -

当社オリジナルグッズ(株主様向け限定品)などの下記6点の中から、お好きなものを1点、選択できます。

1. 「ミニチュアカー」(スカイライン)
2. 「NISSAN GT-R DVD」
3. 「Pivo2 めいぐるみ」
4. 「フロントガラス用サンシェイド」& 「トートバッグ」
5. 「横浜マリノス」リーグ観戦親子ペアチケット」
6. 「環境保全活動への拠出(CO2削減活動への参加)」



*詳細については、同封の『株主優待の実施に関するお知らせ』をご参照お願いします。

5

アジェンダ

1. 業績の推移
2. 商品ラインアップ
3. 地理的拡大
4. 先進技術の投入
5. 環境に対する取組み

商品ラインアップ グローバル新車投入計画

日産バリューアップ						
	05年度		06年度		07年度	
	上期	下期	上期	下期	上期	下期
北米				セントラ アルティマ G35 セダン	アルティマクーペ G37クーペ	ローグ インフィニティ EX ムラーノ
日本	セレナ オットー	ウイングロード ブルーバードシルフィ モコ		オットー AD ピノ アトラス H43	アトラス F24	GT-R
GOM (カナダ メキシコ含む)		アルメーラ クラシック		リヴィナ ジェニス	リヴィナ アプリオ	フロンティア ナバラ S/C
欧州		マイクラ C+C	キャプスター	キャシュカイ	エクストレイル	
	2	5	1	9	6	5
	7		10		11	
・販売開始時期ベース						

エクストレイル (日本・欧州・一般地域)

世界的な人気を誇るSUVの第2世代モデル



デュアリス (日本・欧州・一般地域)

新型小型クロスオーバーSUV

欧州：07年初旬に発売開始、既に120千台以上を販売

日本：2008年1月より九州工場生産開始



スカイライン クーペ (日本・北米・中国 他)



VVELを初めて採用した新開発3.7リッターV6 エンジンを搭載
日本では、計画比20%増の販売を達成

10

GT-R (日本)



「誰でも、どこでも、どんな時でも最高のスーパーカーライフを楽しめる」というコンセプトを具現化した新次元のマルチパフォーマンス・スーパーカー

発売開始から3ヶ月で約5,000台の受注を獲得
(月販目標200台/月)

08年6月より、アメリカでも発売開始

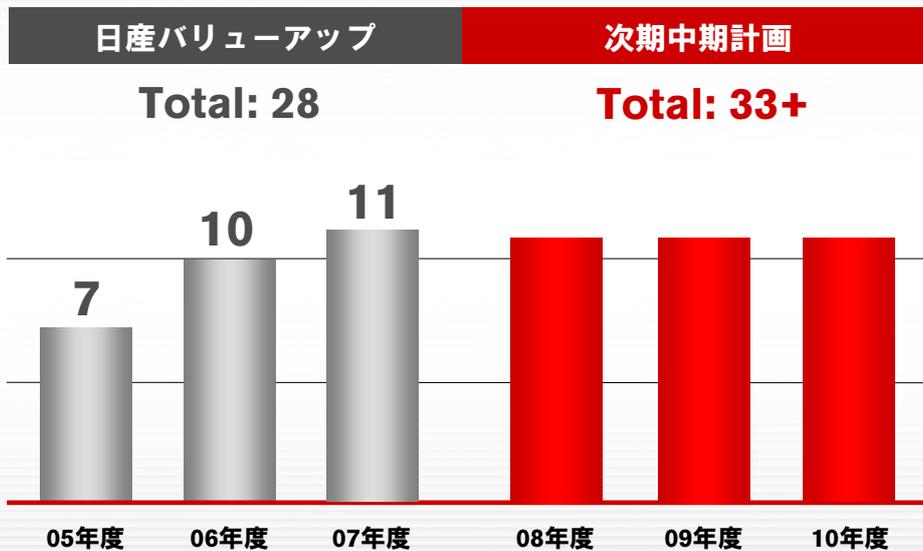
ムラーノ(北米)

08年1月中旬にアメリカで発売開始
日本にも今秋導入予定



12

商品ラインアップ 新車投入数



13

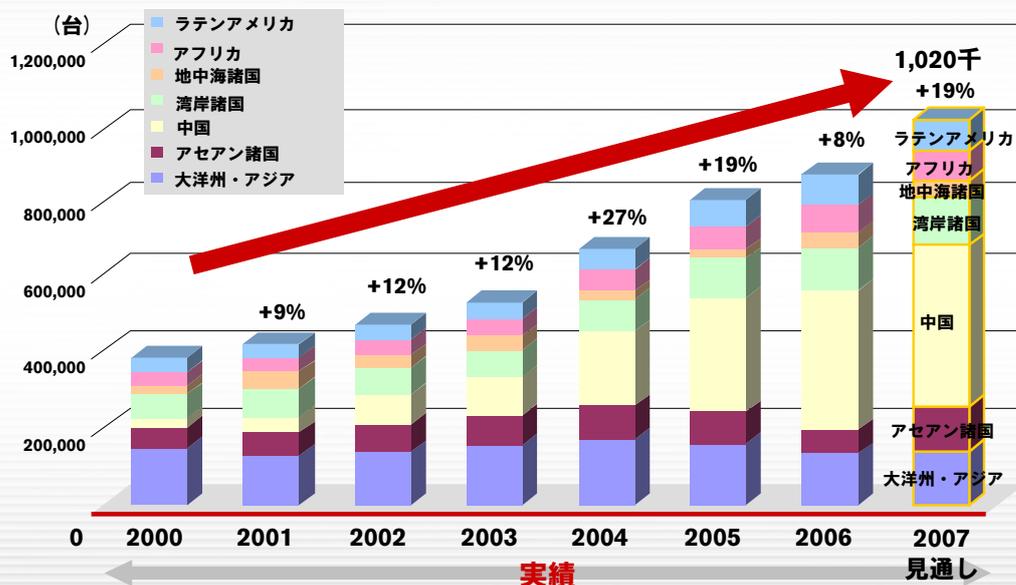
アジェンダ

1. 業績の推移
2. 商品ラインアップ
3. 地理的拡大
4. 先進技術の投入
5. 環境に対する取組み

14

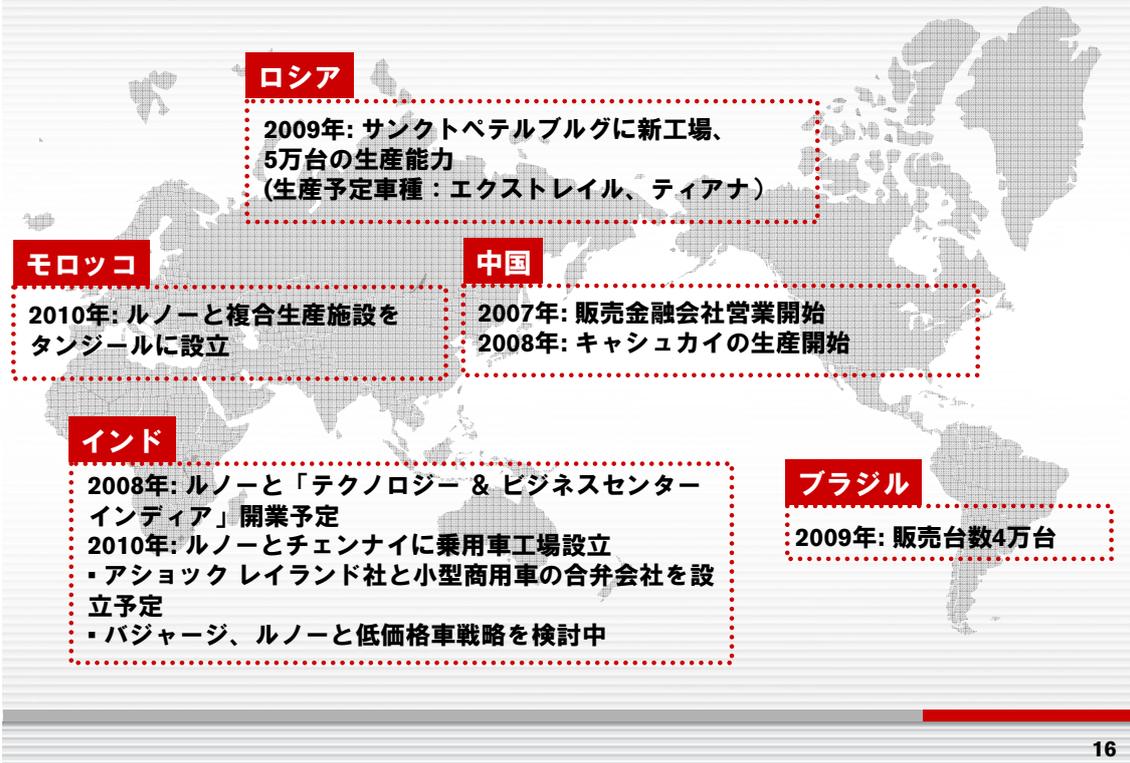
一般海外市場における継続的な成長

一般海外市場の全ての販売会社の貢献により毎年持続的な成長をとげ、
07年度の販売は100万台へ



15

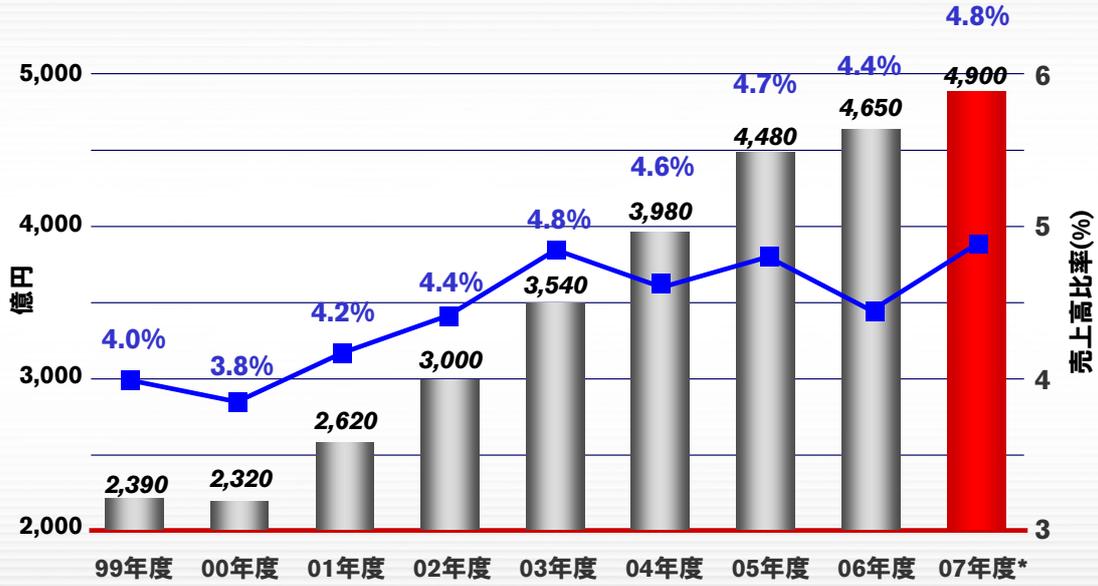
地理的拡大



アジェンダ

1. 業績の推移
 2. 商品ラインアップ
 3. 地理的拡大
 4. 先進技術の投入
 5. 環境に対する取組み
- 17

将来への投資 研究開発費



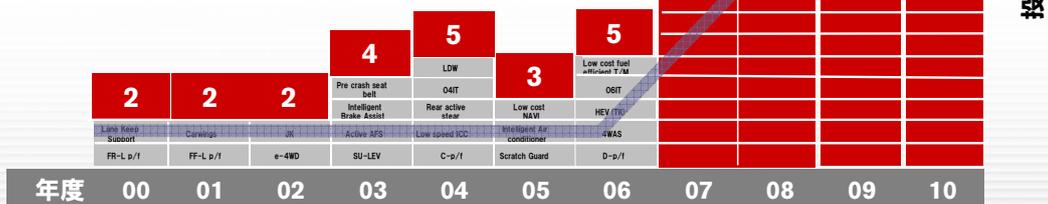
*計画値

18

採用予定の新技术



リバイバル後の研究開発投資が実を結び、
数多くの新技术が採用される予定



投入される主な技術

年度

00

01

02

03

04

05

06

07

08

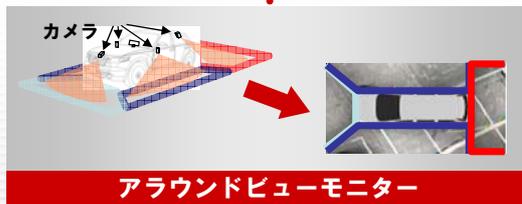
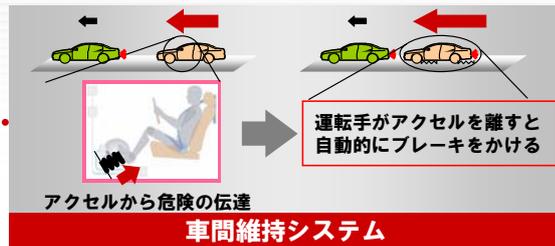
09

10

19

クルマに搭載予定の新技術（07年の例）

3つの
「世界初」技術

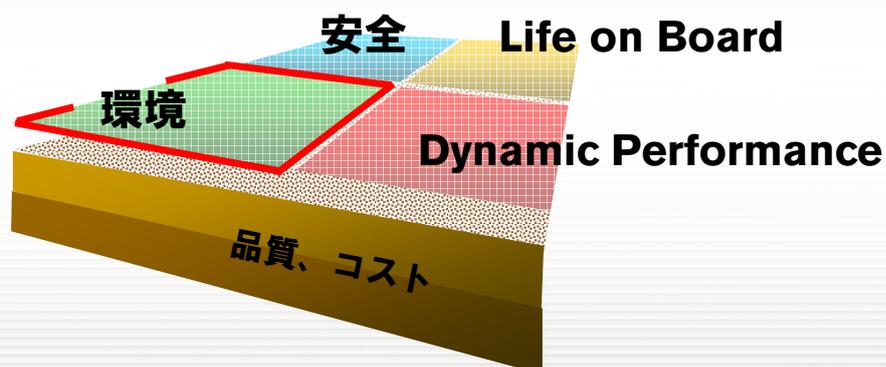


20

日産の4つの戦略的技術開発領域

日産の技術が提供するコアバリュー：

「信頼のドライビングプレジャー」



21

アジェンダ

1. 業績の推移
2. 商品ラインアップ
3. 地理的拡大
4. 先進技術の投入
5. **環境に対する取組み**

企業姿勢

シンシア・エコイノベーター

地球と将来の世代のために

シンシア（誠実な）

環境問題に対し積極的に取り組み、環境負荷を低減する

エコ・イノベーター

持続可能なモビリティ社会の発展のために、お客さまに革新的な商品を提供する

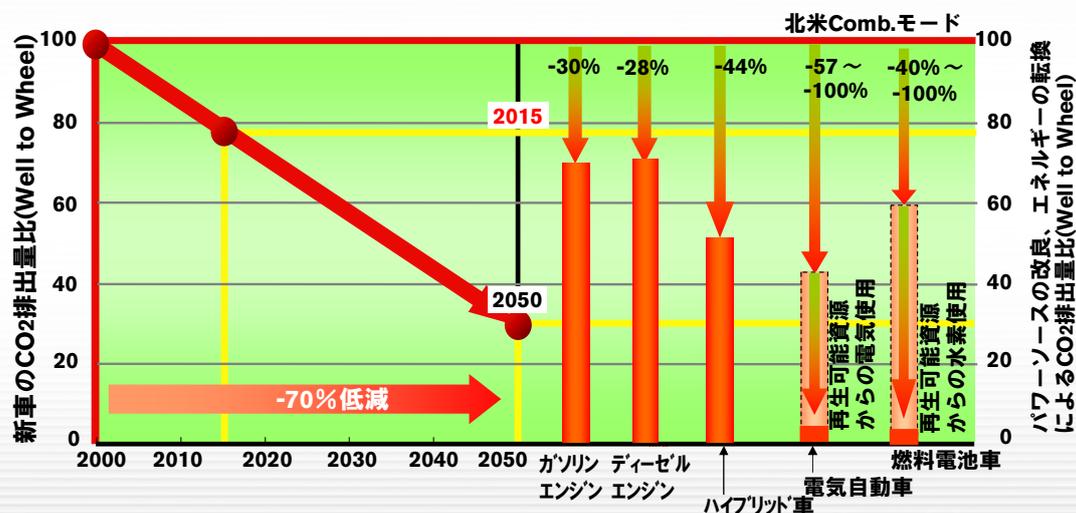
究極のゴール

- 日産の企業活動と日産車の使用過程から生じる環境負荷を自然が吸収可能なレベルに抑える



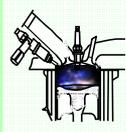
自動車の長期CO₂削減トレンド

- 短中期的には、エンジンの燃費向上が中心。
- 長期的には、電動車両の普及が重要。



ニッサン・グリーン・プログラム2010

エンジン、トランスミッションの進化



DIG



VVEL



クリーンディーゼル



3Lカー



電動車両の投入・普及

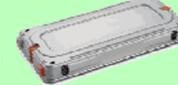
EV



FCV

自社製 HEV

Li-ionバッテリー

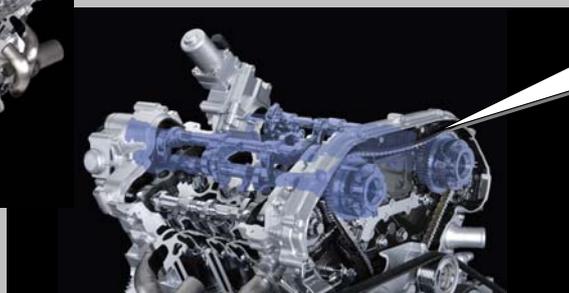


他セクターと連動した取組み



ガソリンエンジン技術：VVEL*1

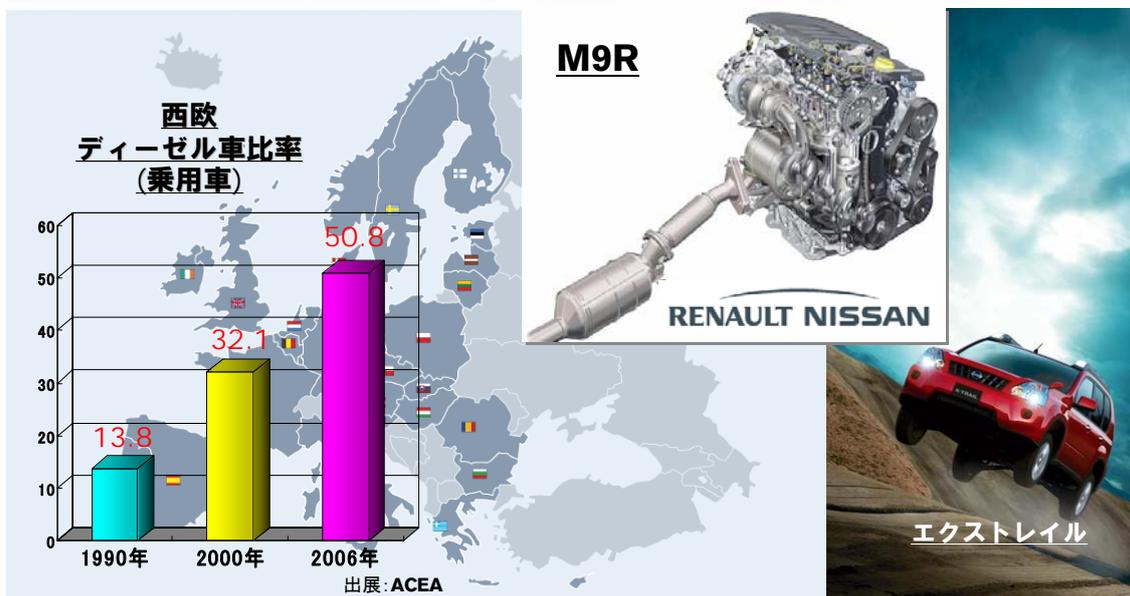
- 2007年 北米・日本でスカイラインクーペより搭載
- CO₂排出量を約10%削減（排出ガスをクリーン化）
- エンジントルクを約10%増大



*1 Variable Valve Event and Lift

ディーゼルエンジン技術：クリーンディーゼル (M9R)

- 欧州では既に50%超がディーゼル車(乗用車)
- 従来のNOx、PM排出レベルを大幅に低減したクリーンディーゼル (M9R)
- 08年秋 **日本メーカーで初めて**クリーンディーゼル搭載車を日本に投入予定



ガソリンエンジン技術：3リッターカー

- ハイブリッド車と同等レベルまでCO₂排出量を削減させる車両を2010年を目標に日本から投入開始

“3リッターカー”

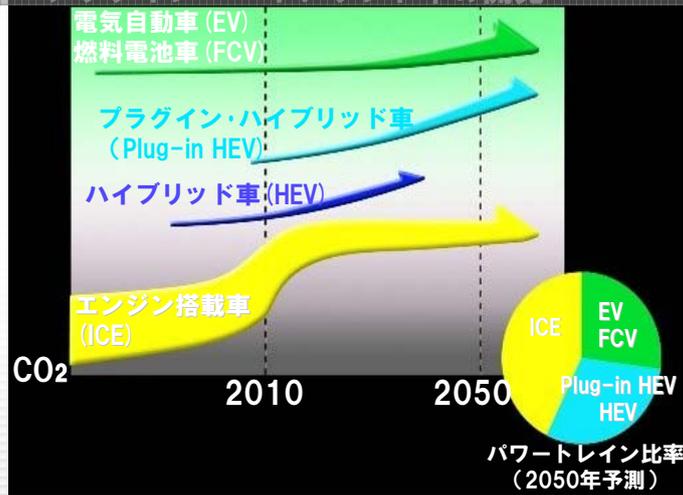
3リッターのガソリンで約100kmの走行が可能

<主要技術>

- 高効率過給エンジン
アトキンソンサイクル
高圧縮比・低フリクション
- 高効率次世代CVT
- アイドリングストップ

パワートレインのロードマップ

- 短期：究極まで効率を高めた内燃機関の普及
- 中長期：電動車両の普及とそれに向けた確実な技術の蓄積
 - ・ ハイブリッド車の効果的な投入と電気自動車、燃料電池車の先行投入
 - ・ プラグイン・ハイブリッド車の開発



30

ハイブリッド車 (HEV*1)

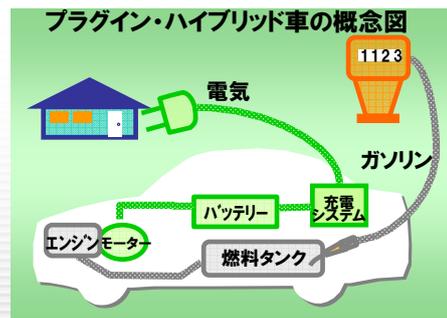
- 2007年アルティマ ハイブリッドを米国へ投入
- 2010年度までに日産独自のシステムを搭載したハイブリッド車を開発



リチウムイオンバッテリー



- プラグイン・ハイブリッド車*2
家庭で充電できるプラグイン・ハイブリッド車の研究開発を推進

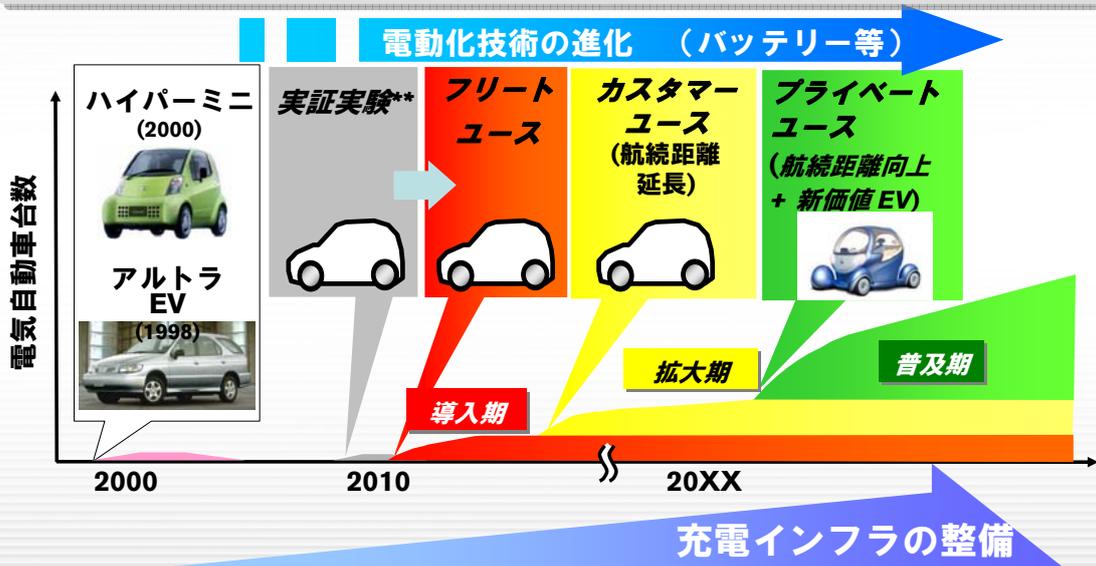


*1 Hybrid Electric Vehicle

*2 外部電源からバッテリーに充電した電気エネルギーを使って モーター走行することで、電気自動車と同様の走行が可能 31

電気自動車 (EV*)普及拡大のシナリオ

- 2010年までに実証実験を実施し、2010年代の早い時期に電気自動車を日本から投入



*Electric Vehicle

**関連企業とのコラボレーションによる

32

ラミネート型リチウムイオンバッテリーの特徴

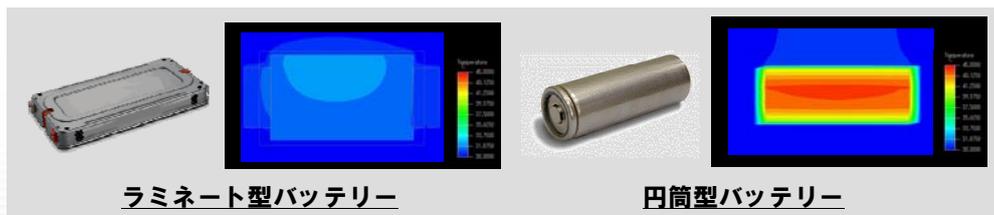
- 3つの技術により、自動車に要求される高い信頼性を実現

(1) マンガン系正極の採用

結晶構造が安定した、スピネルマンガン系の電極材料を使用することにより、異常時に対して、高い熱安定性を有する

(2) ラミネート構造の採用

冷却性能に優れたラミネート構造により、温度上昇を抑制



(3) セルの制御

セルの充放電状態を個別にコントロールすることにより、セル間のバラツキを抑制し、常に安定した性能を発揮

33

商品、技術投入の考え方

CO₂排出量を削減するために

- 効果的な技術をより早く、より広く普及させる

⇒ ガソリンエンジンの革新+CVT*の進化（グローバル）

- 市場に合った最適な技術を、最適なタイミングで、お客さまにとって最適な価値とともに投入していく

“Nissan’s aim is to provide the **Right technology** to the **Right market** at the **Right time** with the **Right value** to the customer”

- | | |
|--------------|------------|
| ⇒ クリーンディーゼル車 | (欧州、日本から) |
| ⇒ バイオエタノール車 | (北米、ブラジルへ) |
| ⇒ ハイブリッド車 | (北米、日本から) |
| ⇒ 燃料電池車 | (北米、日本から) |
| ⇒ 電気自動車 | (日本から) |

* Continuously Variable Transmission：無段変速機

34

最後に・・・ 横浜への本社移転

グローバル本社 - 横浜

2009年10月完成予定



「グローバル企業日産自動車」の本社機能の強化



さらなる飛躍

35